

【発行】徳島市幸町 3-3-7
 全日本建設交運一般労働組合
 徳島県本部建設山林支部
 電話 088-622-4347
 FAX 088-625-9529

建設山林支部機関紙

やまびこ 第241号

2018/2/1

西部相談会で難聴・振動障害など相談7件

1月7日午前9時より西部診療所で毎年恒例の職業病相談会を開催したところ、騒音性難聴、振動障害、じん肺の相談など7人が訪れました。昨年末に徳島新聞に相談会案内のチラシを折り込んだり、東みよし町の広報誌に折り込んで（町の協力・無料）PRしました。

「ミンミンゼミが鳴いているようだ」

そのうち、地元の建設会社で長年建設現場や大工として働いてきた男性は、「先月も両手指が白くなり冷たさを感じる」と訴え、職場で受けた検診では「指の皮膚温は15℃」と言われたとのこと、また両耳は、「一日中ミンミンゼミが鳴いるような音だったり、キーンという音もする」と話しました。

製材所で長年働いてきた男性は、退職後に耳鳴りがするようになり、最近の検診では「高音がきこえにくくなっている」と言われたとのこと、離職後5年以内なら労災として認められることを話し、検査をすすめました。

建設現場で振動工具をつかって働いてきた男性は、最近では両手の薬指と小指が、指の先までしびれていると訴えました。

じん肺の相談では、現在振動障害で現在療養中の組合員さんが、粉じん職場で働いた職歴があるということで胸部レントゲンを撮り医師の診察を受けましたが、「じん肺の所見なし」とのことでした。

終了後はスタッフとして対応した執行委員さんや西部診療所の石川医師、職員さんら



↑西部診療所での相談会の様子。建交労ではこの時期、全国あちこちで相談会が開催されています。

と昼食をとり、報告をしあいました。

例年に比べると来場者は少なかったのですが、どの人も長年働いてきたことによる作業・環境の影響が考えられる症状を訴えていたので、職業病や労働災害に詳しい病院での受診・検査が必要です。さらに「職業性」を裏付けるための職歴を作成することがとても重要になります。組合では今後も相談者一人一人の対応を丁寧におこなっていきます。

鳴門でも耳鳴りを訴える相談

1月13日鳴門市うずしお会館で午前中開催した相談会に訪れた男性は、鉄工所で長年つとめ、耳鳴りがしていると訴えました。また作業中粉じんも多くあったといいました。騒音性難聴やじん肺など職業性疾患のことを話し、病院での受診・検査をすすめました。

1月21日開催の阿波市相談会（林公民館）は来場者がいませんでした。

第6回じん肺学習会に家族も参加

1月14日午前10時より、貞光ゆうゆう館で第6回じん肺学習会を開催しました。

対象となるじん肺療養者・健康管理手帳保持者の組合員全員に手紙で案内しましたが、高齢化もすすみ私病による長期入院、老健施設への入所、また大雪・積雪の影響などで参加者は昨年より少なく、家族もあわせて23人でした。

最初に藤川利三郎委員長より挨拶があり、続いて家族会会長の山田光子さんは「じん肺患者をしっかりとささえていくために、家族もしっかり学習しましょう。」と挨拶しました。

健康で長生きの秘訣は呼吸法

第1部は徳島健康生協健康づくり事業部部長の松田大亮さんより「健康で長生きするための秘訣」と題して、パワーポイントを使ってお話していただきました。健康で長生きするための方法の一つとして、腹式呼吸の大切さを述べ、例えばお祭りで売っている「ピロピロ」(吹き戻し)を毎日楽しんで吹けば長生きできるというお話は、参加者みんなが興味を持って聞ける内容でした。

第2部はじん肺の合併症の話、定期報告の診断書の見方、労災遺族補償年金の



↑ 昼食は「阿波尾どり鉄板焼き」で満腹でした。

ことなどを事務局から話をしました。今回が初めての参加という人もいて、熱心に耳を傾けていました。

(写真上) 松田さんの話 (下) 参加者の様子



遺族補償をみんなに出してほしい

学習会の後で次のような感想が参加者から出されました。

- ・じん肺でずっと療養してきたのに、死亡原因によっては遺族年金が出ない場合があることに合点がいけない。みんなに補償がされるようにならないものか。
- ・徳島から運動を起こさないと、いつまでたっても変わらないのでは。
- ・こんな学習会は家族こそきて話をきかなければいけない。
- ・次回は寒い冬の時期の開催は避けて、暖かい時期にしてほしい。

まとめでは、あらためて「じん肺法」をよく学び、出された意見を「要望」として早い時期にまとめて徳島労働局要請をすることとなりました。

「全部休業」の療養を求めて 徳島労働局に審査請求中

振動障害のHさん、Nさん、Yさんは、一昨年の労災認定当初より「要一部休業」＝「部分休」で治療していますが、認定時の症状は重く、振動工具使用以外の就労も現実的には困難ないことから、部分休ではなく「要全部休業」＝「全休」で療養させてほしいと、徳島労働局に審査請求（不服申し立て）をしています。

そのことについて1月下旬、徳島労働局の審査官が3人に対して聞き取り調査を三好監督署内で行いました。審査官が「今回の申立てについて何か意見がありますか」との問いに、Hさんは次のように述べました。

Hさん「朝、病院で手をロウで温めても、外へ出てきたらすぐに冷たくなる。部分休ではたらくと言われても、私は長いこと外で仕事をしてきており、今さら別の仕事もなかなかできない。どうか全休で療養させてください。」

またYさんは、これまでの仕事にとてもやりがいを感じながらやってきたことを話した後で次のように述べました。

Yさん「こんな手になってしまったら、(現場で)迷惑もかかるのでもう仕事はできない。今は、ボランティアで神社などの掃き掃除くらいしかできないことがない。」

Nさんも次のように述べて、全休での療養を訴えました。

Nさん「常に痛み、冷え、痺れが続いている。治療から帰ってもこたつで手を温めて座るくらいしかできない。こんな状態ではもう仕事はできないし、雇ってくれるところもないと思います。働けというのであればどこか探してくれるのだろうか？診断書にも書いてなかったし、先生にも働いていいとは言われなかった。監督署の電話一本で何の説明もなかった。きちんと対応してもらいたかったです。」

3人の意見は、振動障害者の現実を的確に表現し、患者の療養に関して労災保険制度の矛盾と社会復帰対策の遅れをズバリ指摘する内容となっています。

年度内の決定を徳島労働局に要請しました。

分会シリーズ⑥

美馬分会は、奇数月の第3水曜日10時より、町内の食堂の一室に集まります。他の分会同様、かつては大勢の組合員さんで賑わいましたが、今は4人が毎回参加し、出席率は100%です。1月号のクイズに登場した**Mさん**もバッチリ、写真にはご夫婦で写っていますよ(^_-)☆

昔から1月は新年会ということで、会計・食事担当のMさん、「焼肉定食」と缶ビールを用意してくれました。(いつもは



なべ焼きうどん、親子どんぶりなどです) また、リハビリり兼趣味で取りくんでいる手作りかごを、この日もたくさん持ってきてくれました。

トンネルじん肺根絶徳島原告団・家族会 第8回総会

1月14日午後1時より貞光ゆうゆう館において徳島原告団・家族会第8回総会が開催されました。最初に事務局より一年の活動報告と方針を提案しました。また会計報告のあと、藤坂美代子さん(貞光)より監査の報告がありました。

今回の報告は、全国・闘争本部の経過・方針をなぞってのものでしたが、「トンネルじん肺基金制度」については「なかなか実現できないのではないか」「ゼネコンのいうとおりにされてしまいそうだ。」などの意見が出されました。

四国トンネルじん肺訴訟から30年がたち、原告174名のうち、現在生存組合員は33名となっています。

やまびこクイズ②



《「建交労」の問題だよ》

- ①建交労は略称です。正式な名称は？
- ②建交労中央本部の住所は東京都〇〇区
- ③中央執行委員長の名前は？
- ④徳島県本部の委員長はだれ？
- ⑤建交労に加入できない人は？

ア、パートの人 イ、退職した人
ウ、解雇された人

クイズ全問正解者のうち抽選で2名の方にクオカード500円を贈呈します。答えははがきを書いて、2月末までに徳島事務所か西部事務所まで。※はがきはご自分で用意ください。直接持ってこられる場合は、普通の白紙でもいいし、ファックスでも構いません。ただし、電話での回答は受け付けません。

240号(1月号)の答え

- ①16分会 ②東祖谷分会 ③東祖谷分会
④美馬分会 ⑤東みよし町

原告団・家族会の役員

| | |
|-------|---------------------|
| 団 長 | 福島一夫(新) |
| 副団長 | 原田勝 |
| 事務局長 | 山田正行 |
| 事務局次長 | 井上玉紀 |
| 幹 事 | 平松国夫、川添登志文、 篠島若三 |
| 監 査 | 藤坂進 |
| 家族会会長 | 山田光子 |
| 事務局長 | 山田真希 |
| 幹 事 | 川原美江子、藤坂美代子 |

1月の報告

- 1/16 いのけん中四国会議(岡山/井上)
/22 県本部常勤会議(井上、山田)
/26~28 中央執行委員会、女性部委員会
(東京/井上)
/31 徳島労連中央委員会(井上)

★★2月の予定★★

- 6 11時 第1回会計監査
13時 第3回執行委員会(西部)
8 10時 三野・三好集会
9 13時 一字集会
10 13時 東祖谷集会
13 10時 木屋平集会
15 10時 半田集会
15~16 全国労職部会学習交流会(東京)
16 13時 徳島集会
17 10時 三加茂集会
20 10時 西祖谷集会
24 10時 井川集会
26 15時半 徳島健生病院定期協議会
※ 18時 西部診療所定期協議会

《後記》1月末から新規の振動障害検査が始まりました。先日も白ろうを訴える人が西部事務所にご相談に来ました。一方で、監督署が35号調査にかかる時期にもなりました。寒い時期だけに「治るまでは治療の継続を」を切に願うばかりです(井上)